



概要

長沼町は、町営バスが町内の公共交通の中心であるが、農村地域においては住宅の密度が低く、バス停までの距離が長いこと等により、利用者数は低迷している。このため、町営バスの路線再編、デマンド型の乗合タクシーの導入等による町内の公共交通の利便性の向上の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・(株)JR北海道バス(札幌 - 長沼)
- ・(株)夕張鉄道(札幌 - 長沼 - 夕張)
- ・北海道中央バス(株)(長沼 - 由仁 - 栗山 - 栗沢 - 岩見沢)
- ・町営バス(9路線、内スクールバス混乗2路線)

地域公共交通の課題

- ・町営バスの利用者数が低迷
- ・農村地域では、バス停までの距離が長く、利便性が低い
- ・町営バスと民間バスとの結節が不十分

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・利用促進策の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バスの路線再編の検討
- ・乗合タクシーの導入
- ・住基カードとの連携の検討(電子ポイント利用)
- ・民間バスと町営バスの結節拠点の整備検討
- ・観光スポットの周遊バスの導入検討



長沼町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は
H21.1.30現在

主な調査の実施内容

現況交通実態調査

・各種統計資料による人口、世帯、交通概要調査及びOD調査、住民利用実態調査を実施。(H20.10～H21.1月)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・デマンド型交通利用意向、住基カードとの連携を目的に、交通行動、路線バス利用実態等のアンケートを実施。(H20.12～H21.1月)

予定している連携計画の内容

乗合タクシーの導入(実施主体:(株)長沼ハイヤー(予定)、実施時期:H21～)

・町営バス各路線での乗合タクシー導入に向け、H21は2路線を対象に朝夕を除く日中の2便で実証運行を実施。
H22以降は簡易的なデマンドシステムによる運行を目指し、H23まで段階的に町内全路線での実証運行を実施予定。

公共交通サービス情報提供(実施主体:長沼町、実施時期:H22 実施を目的に検討)

・交通マップの作成、ホームページにより公共交通サービス情報を提供。

停留所の整備(実施主体:長沼町・各行政区、実施時期:H22 実施を目的に検討)

・停留所を整備のうえ、各行政区において維持管理を実施。

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。